

JACLaP WIRE No.68(2004年3月2日発行)

\*\*\*\*\*

本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.68 です。

\*\*\*\*\*

===== 目次 =====

【お知らせ】

- 【1】 会員動向 (2004年2月27日現在数 663名, 専門医 465名)
- 【2】 4回日本臨床検査専門医会春季大会・総会について
- 【3】 平成16年度 日本臨床検査日本臨床検査専門医会 常任幹事会
- 【4】 平成16年度会費納入について
- 【5】 「臨床検査認定審査の実際」についての講演会

【最新トピックス】

- 【1】 鳥インフルエンザが東アジアで流行
- 【2】 電車やバス車内などで公共性が高い場所でたばこ広告全面禁止
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 2月1日号から】
- 【MTJ (The Medical & Test Journal) 2月11日号から】

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-1】

会員動向 (2004年2月27日現在数 663名, 専門医 465名)

新入会員

- 岡田 仁克 先生：大阪医科大学第二病理学教室
- 河野 尚美 先生：横浜南共済病院 病理検査科
- 岸野 智則 先生：杏林大学医学部臨床検査医学
- 大西 宏明 先生：杏林大学医学部臨床検査医学
- 佐々木昭仁 先生：東京医科大学臨床検査医学
- 藤田 進 先生：東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科
- 加藤 裕也 先生：三重大学医学部附属病院病院病理部
- 山中 晃 先生：東京医科大学臨床検査医学

所属変更

- 木村 雅友 先生：旧 近畿大学医学部第二病理学教室  
新 近畿大学医学部病理学教室
- 新谷 憲治 先生：旧 岡山大学医学部第三内科  
新 笠岡市立市民病院
- 下条 文武 先生：旧 新潟大学大学院医歯学総合研究化内部環境医学講座

新 新潟大学医私学総合病院第二内科

退会会員

- 覚道 健一 先生：和歌山県立医大第二病理学教室  
田島 裕 先生：佐賀医科大学検査部  
真柄 直郎 先生：東京慈恵会医科大学付属病院中央検査部 診療部長  
山本 智子 先生：国療中部病院研究検査科

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-2】第14回日本臨床検査専門医会春季大会・総会について

場所：ピューリテイまきび「孔雀」

日時：平成16年4月9日金曜日 17:00-20:00

4月10日土曜日 9:00-17:20

平成16年4月9日(金)

1) 特別講演 17:00-18:00 (60分)

司会：小出典男

演者：岡山大学第二外科 伊達至洋 先生

演題：「移植医療と臨床検査－肺移植の現状」

2) 懇親会 18:00-20:00

場所：ピューリテイまきび 「千鳥A」

平成16年4月10日(土)

3) シンポジウム1 9:00-11:30 (150分)

司会：渡辺清明、高木 康

テーマ：包括医療と臨床検査

1. DPCにおける臨床検査の実態 高木 康(昭和大学)
2. 包括医療での臨床検査医のあり方 福武勝幸(東京医科大学)
3. DPCにおける病理医のあり方 水口国雄(帝京大学)
4. 包括医療に対応した臨床検査ガイドライン 川合陽子(慶応義塾大学)
5. 包括医療の保険制度への対応(特に臨床検査関連項目) 森三樹雄(獨協医科大学)

4-1) 全国幹事会 場所：「ガーネット」 11:45-12:45 (60分)

4-2) ランチョンセミナー 場所：「孔雀」(テーマ未定) 11:45-12:45 (60分)

5) 総会 場所：「孔雀」 12:50-13:10 (20分)

6) フォーラム 13:15-14:35 (80分)

司会：森三樹雄、吉田 浩

テーマ：新規収載検査項目（知っておくべき検査）

1. 「抗酸菌検査」 岡田 淳（関東通信病院）  
抗酸菌交代価精密測定  
結核菌群リファンピシン耐性遺伝子同定検査
2. 「肝炎の検査」 真治紀之（岡山大学）  
HCV コア蛋白質測定  
血清中の HBV プレコア変異およびコアプロモーター変異遺伝子同定検査
3. 「血清中抗デスモグレイン 1 抗体、血清中抗デスモグレイン 3 抗体」 大島久二  
（藤田保健衛生大学）
4. 「HER-2 の検査」 岡部英俊（滋賀医科大学）  
HER-2 遺伝子（FISH 利用）  
HER2 タンパク

7) シンポジウム 2 14：45-17：15（150分）

司会：中原一彦、神辺眞之

テーマ：病院マネジメント改革と医学教育

演者：

- 1) 卒前の臨床検査医学教育の在り方  
富山医科薬科大学 臨床検査医学 北島 勲
- 2) 卒ご教育と臨差悪検査医学のかかわり方  
東京大学医学教育国際センター 北村 聖
- 3) 卒後研修と臨床検査医学のかかわり方  
東葛病院 臨床病理科 下 正宗
- 4) 検査部はとこまで臨床にかかわるか  
山形大学臨床検査医学 富永 真琴
- 5) 検査部と総合診療内科との関係  
岡山大学臨床検査医学 越智 浩二

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-3】

平成 16 年度 日本臨床検査日本臨床検査専門医会 常任幹事会

日時：2004 年 3 月 12 日（火）15 時～17 時

場所：臨床検査医学会事務所

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-4】平成16年度会費納入について

本年度会費のお支払いをお願いいたします。

なお、本年度からは住所、氏名を入れてお届けしています。

所属、住所、その他の変更がございましたら振り込み時に通信欄にご記入ください。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-5】「臨床検査認定審査の実際」についての講演会

日本臨床検査標準協議会、(財)日本適合性認定協会、(財)日本規格協会共催のもと、「臨床検査認定審査の実際」と題した講演会を平成16年4月28日(水)に、東京医科歯科大学で開催することになりました。講演内容と演者は、「ISO/TC212の活動とJCCLSの認定の考え方」はISO/TC212国内検討委員会委員長の河合 忠、「(財)日本適合性認定協会の臨床検査室認定プログラム」は(財)日本適合性認定協会試験所認定部担当部長の青柳 邁、「NATAの臨床検査室認定制度(通訳付)」NATA(豪州試験所認定機関)のMs. Victoria Haukeです。本会も後援しておりますのでぜひご出席下さい。詳細については、

URL([http://www.jsa.or.jp/seminar/seminar02\\_s.asp?fn=nata\\_forum040428.htm](http://www.jsa.or.jp/seminar/seminar02_s.asp?fn=nata_forum040428.htm))をご覧ください。日本規格協会の普及企画課(03-3583-8004)に連絡して下さい。

(森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス-1】鳥インフルエンザが東アジアで流行

2003年12月中旬より流行が始まった鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)が、東アジア(タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、パキスタン、インドネシアのバリ島、中国各地、香港、台湾、韓国、日本の山口県阿東町など10カ国)で鶏やアヒルに感染し、何万~何百万羽も死亡させ、その流行は近隣諸国に拡大している。ベトナムとタイで鳥インフルエンザウイルスのヒト感染が、2004年2月16日の時点でそれぞれ14名、6名の死亡者が出ている。人間が鳥とヒトのインフルエンザに同時感染すると、感染者の体内でウイルスの遺伝子が突然変異を起こし、新たなインフルエンザウイルスが出現し、これが人間に感染すると全世界に流行する可能性がある。鳥インフルエンザウイルスの大きさは20~300nmでウイルス単独では生存できず、鳥や人の細胞に感染し増殖するが、75℃、1分間の加熱で死滅する。わが国は鳥インフルエンザウイルス感染が流行している中国やタイからの鶏肉の輸入を停止している。

現在のヒトインフルエンザワクチンは鳥インフルエンザウイルスに無効であるが、インフルエンザ治療薬(ノイラミニダーゼ阻害剤)は有効とされている。WHOは家禽類の処理などに従事する人は感染防止のため、つなぎの作業服を着用し、厚手のゴム手

袋をはめ、「N95」と呼ばれる高機能マスクにゴーグルを着け、ゴムやポリウレタンの長靴の使用を勧告している。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス - 2】電車やバス車内等で公共性が高い場所でたばこ広告全面禁止

財務省は2004年1月29日、たばこ広告を規制する財務省指針を3月中に改正し、電車やバスの車内、繁華街の屋外看板など公共性が高い場所でのたばこの広告を全面的に禁止することになった。たばこ業界でも来年度から段階的に公共交通機関での広告を取りやめる。現在の指針は未成年者を対象としたたばこ広告を禁じているが、あくまで自主規制であり、効果は上がっていない。

2003年5月のWHO年次総会で、たばこ規制枠組み条約は全会一致で採択され、健康の害をたばこに明示することや、発効から5年以内にたばこの広告を原則として禁じている。そこで規制強化を図るWHOの求めに応じ、わが国でも改正案にて場所を特定して広告を締め出す指針を15年ぶりに見直すことになった。今回の指針改正は、業界は電車や地下鉄、バス、タクシーなどの車内の中刷り広告、駅頭広告、車体広告などをすべて取りやめ、新聞・雑誌広告も掲載面や掲載量を規制する。このため、たばこの広告・宣伝は極めて限られた場所だけになる。公共の場所での全面禁煙のベルギーをはじめ、欧米では厳しい喫煙規制が行われている。たばこのパッケージについても、厳しい文言に書き換えられる予定である。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【MTJ (The Medical & Test Journal) 2月1日号から】

2004年度診療報酬改定 外来診療料の包括範囲の拡大などに危機感

次回診療報酬改定にむけ議論が進む中央社会保険医療協議会は1月21日、検体検査、生体検査、画像診断などに関する適正化を提案した。これに対して日本衛生検査所協会の山本義教会長は1月22日、「検査料金に関する円建て契約を徹底することで、次回診療報酬改定に対応していきたい」との見解を表明した。これは、22日の同会理事会で了承したもの。

日臨技代議員会 検体検査一部業務制限の法案化は断念

日本臨床衛生検査技師会は1月24日、平成15年度代議員会を会館内で行った。今

通常国会に提出予定の臨床検査技師・衛生検査技師法の一部改正案について岩田進会長は、日本医師会から最終的に了解を得ることができなかった検体検査の一部業務制限を除く衛生検査技師免許制の廃止など3項目について法案を提出する方針を表明した。

#### 日臨技 次期会長選挙で小崎副会長が当選

役員の任期満了に伴い改選期をむかえた日本臨床衛生検査技師会は、岩田進会長がすでに勇退を表明したことをうけ、次期会長を巡って小崎繁昭氏（越谷市立病院）と村瀬光春氏（愛媛大学病院）の両副会長が立候補していたが、小崎氏1万563票、村瀬氏8764票で、小崎氏が次期会長に当選した。最終決定は、総会での了承をうけてからとなる。

#### 自動化学会春季セミナー 4月3日広島市内で開催

日本臨床検査自動化学会第18回春季セミナーは4月3日、広島県の広島国際会議場で開催される。例会長は広島大学大学院の神辺眞之臨床検査医学教授。シンポジウムは、「21世紀の臨床検査の自動化はどうあるべきか」と「21世紀の病院検査部の運営はどうあるべきか」の2題。

#### 認定微生物検査技師、新たに95人誕生

1月24日の日本臨床微生物学会総会で、猪狩淳理事長は、過渡的特例措置で行われた第3回認定臨床微生物検査技師試験によって95人の登録認定者が誕生したことを明らかにした。登録認定者は、第1回・第2回の181人に加え合計で276人となった。過渡的特例措置は今回で終了となる。

#### 臨薬協 標準物質の販売元を変更

日本臨床検査薬協会は、同協会で頒布していたJCCLS認証品「IFCC血漿蛋白国際標準品（BCR/CRM-470）」と「日本・常用酵素標準物質（ERM）」の販売元を福祉・医療技術振興会（HECTEF）に変更する。BCR/CRM-470は臨薬協の在庫終了次第HECTEFが販売する。ERMの販売元変更は今年4月（Lot.004）からの予定。なお、ERMは、Lot.004から凍結乾燥品となる。

【MTJ (The Medical & Test Journal) 2月11日号から】

信州大学医学部附属病院 大学保健学科教員の医療現場への参加に道

長野県松本市の信州大学医学部附属病院(680床、勝山努病院長・臨床検査医学講座教授)は、信州大学医学部保健学科(臨床検査学科、看護科、作業療法科・理学療法科)と病院の臨床検査部、看護部、リハビリテーション部などとの診療協力体制の構築に着手した。これは、4月の国立大学独立行政法人化の中期目標・中期計画案のひとつとして盛り込まれた。

日本臨床検査医学会 04年度診療報酬改定で緊急要望

日本臨床検査医学会(渡辺清明会長)は、1月末の中央社会医療協議会で2004年度診療報酬改定に関する検査関連の改定案の内容を踏まえ、厚労省に対し検査区分の不合理是正などを求める緊急要望活動を行っていたことが、2月2日までに明らかになった。渡辺会長は、「不合理な部分があることは確かである。学会として当該部分の是正を継続して要望していくことが重要だ」との認識を示している。

厚労省検討会 乳がん、子宮頸がん検診の対象年齢引き下げを検討

厚生労働省の「がん検診に関する検討会」(座長:垣添忠生・国立がんセンター総長)は1月16日に乳がん検診、27日には子宮がん検診についてそれぞれヒアリングが行われた。乳がん検診の見直しでは、マンモグラフィーと視触診を併用する検診の対象年齢を50歳以上から40歳以上に引き下げることなどが論点となった。また、子宮頸がん検診の対象年齢が現行30歳以上となっているのを20歳代から行う方向で概ね意見が一致した。

旭川赤十字病院検査部 院内検査を拡大、試薬経費を低減

北海道・旭川赤十字病院(765床)検査部は昨年10月、機器メーカーによるFMSの契約が満了となったことから、新たに機器リースシステム販売に切り替え、院内検査を拡大、試薬経費の低減、人員配置の効率化を図った。同病院は、3次救命救急センターをもつ急性期病院ということで、平日だけでなく夜間、休日の緊急検査のニーズは高い。

## 千葉県・高根病院 感染症入院患者を対象に検査技師の担当制始動

千葉県・芝山町の医療法人高根病院（99床、高根宏院長）は、来春をめどに感染症病棟50床を含む250床（一般200床、療養50床）に増床する。これを契機に感染症を専門とする医師や感染症診断の専門技師の育成を図る。高根病院検査部は昨年10月、病院検査技師3人と検査センターからの派遣検査技師3人の合計6人体制でスタートした。検査部の一部がブランチラボとなっている。

## 協和メデックス 完全長のPTH（1-84）のみの測定試薬発売へ

協和メデックスは、完全長のPTH（1-84）のみを測定する米国ニコルス・インスティテュート・ダイアグノスティックス社製のアレグロライト Bio-intact PTH（1-84）を今春にも販売する予定だ。

## 日本光電 ネットワーク機能を強化した心電図情報システムを発売

日本光電は1月23日、心電図を中心とした各種の生理検査データを電子保存するとともに、電子カルテとの連携を行うためのネットワークシステム「EDS-2000」シリーズを発売したと発表した。

## 東京工科大など 自己血糖を200ナノリッターで測定可能なチップ開発

東京工科大学と独立行政法人産業技術総合研究所バイオニクス研究センターは2月3日、都内で記者会見を開き、自己血糖測定に必要な血液量が世界最少の200ナノリッター（0.2nL）で測定が可能なグルコースチップを共同で開発したと発表した。この開発によって採血時の痛みを軽減、計測時間の短縮、さらに製造コストの低減など糖尿病患者の負担軽減が図れるという。

=====

JACLaP WIRE, No.68(2004年3月2日発刊)

発行：日本臨床検査専門医会 [ 情報・出版委員会 ]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

E-mail：jaclap\_wire@yahoo.co.jp

TEL:045-787-2721

FAX:045-786-0392



日本臨床検査専門医会ホームページ : <http://www.jaclap.org/>  
JACLaP WIRE バックナンバー :  
<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

-----  
\*\*\*\*\*  
会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

\*\*\*\*\*  
メーリングリスト配信先の変更には  
氏名, 2. 現行登録アドレスと 3. 変更希望メールアドレスを添えて  
[jaclap\\_wire@yahoo.co.jp](mailto:jaclap_wire@yahoo.co.jp)まで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。  
\*\*\*\*\*